

教育委員会だより

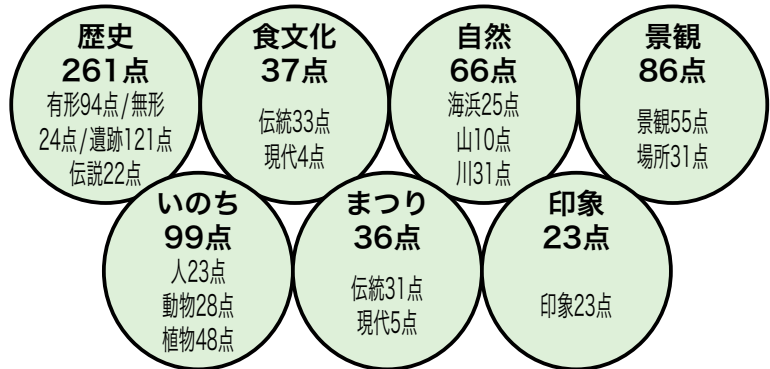
上ノ国町歴史文化基本構想を策定しました

○基本構想にあたり

この構想は、文化財を核とした地域の魅力の増進、教育だけではなく、歴史文化を活かした観光はもとより産業・福祉などの振興を含むまちづくりを目指すものです。そのため、町の最上位計画である「第5次上ノ国町総合計画」を始めとした各種計画との整合性を図りながら策定に努めました。

○7つの「マイ文化財」

町にとって大切な文化財を「マイ文化財」と名付け、アンケート調査によって608点を集めることができました。これらを7つに大別し、さらに17に細別しました。



○関連文化財群の設定

上ノ国町特有の地域性とマイ文化財のまとまりを関連文化財群と捉え、現段階で3つを見出しました。

- ①地形や地質の特徴や天の川を吹き抜ける強い風が多く、伝説や文化を生み出し、独特の景観を形成する 『天の川が育む〆風の国〆』
- ②交易の拠点となる館が築かれ、「松前年代記」に"神の国"と記された歴史を重視し、アイヌ文化と和人文化が混交していた時代を中心とする 『はじまりの地〆神の国〆』
- ③豊富な海産物と人が往来した日本海を 大漁を意味する方言（せんずけ）を用いて 『せんずけの海〆渡りの国〆』

これらの関連文化財群を踏まえ、歴史文化保存活用区域と保存活用計画について検討を行いました。

○関連文化財群と歴史文化保存活用区域

関連文化財群	歴史文化保存活用計画区域名	概要
天の川が育む風の国	天の川河口周辺地区	天の川河口部やもんじゅ周辺の地形と伝説が含まれる地域
	宮越・早瀬地区	地元で採れる農産物を使った郷土料理を作る地域
	湯ノ岱・七ツ岳周辺	温泉を拠点とし、アユ・山菜や七ツ岳、紅葉などの景観が残る地域
はじまりの地神の国	史跡上之国館跡周辺地区	中世のアイヌと和人の文化が残る史跡上之国館跡周辺を象徴する地域
せんずけの海渡りの国	木ノ子・汐吹地区	海水浴した場所やゴジラエビの水揚げや郷土料理のつぼっこ汁が残る地域
	石崎地区	石崎漁港トンネルや中外鉱山などの近代化遺産と石崎奴が残る地域
	小砂子地区	ホッケ干しの風景やけんちん汁などの漁村文化が今なお残る地域

○「神の国ファンクラブ」の創設

歴史文化の保存活用を実践するためには、地域住民・行政・研究機関が同じ目線でマイ文化財を活用したまちづくりに取り組み協働体制を図ることが大切です。

そのため、マイ文化財の調査や保存活用事業の企画立案および運営を担う"神の国ファンクラブ"創設し、円滑に歴史文化の保存活用を推進できる体制や担い手不足で活動が困難となっている団体の横の連携を深め相互に助け合う連携が期待されます。

詳細については、教育委員会に備え付けの冊子で閲覧できるほか、町ホームページでも公開します。

【上ノ国町歴史文化基本構想に関するお問い合わせ】教育委員会文化財グループ ☎55-2230

